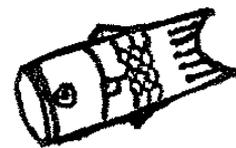


トイ・ポスト



No. 147

発行日：2022年11月17日 発行者：認定特定非営利活動法人おもちゃの図書館全国連絡会 〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-25-11
電話 03-6807-8813 Fax 03-6807-8863 E-mail:renrakukai@toylib-jpn.org HP:http://www.toylib-jpn.org/

～おもちゃ図書館への想い～

長野大学 社会福祉学部
教授 繁成 剛

おもちゃライブラリーの活動を最初に知ったのは、1979年に私が北九州市立総合療育センターに就職した年でした。当時上司だった整形外科医の安藤忠先生が、おもちゃライブラリーの新聞記事を見つけて、面白そうだから情報を集めるようにと指令が出されました。さっそく記事で紹介されていた大阪おもちゃライブラリー主宰の辻井正さんに連絡を取り、何度かやりとりをするうちに療育センターで講演をしていただくことになりました。辻井さんはスウェーデンのカロリンスカ病院に世界初のレコテクを創設したユンカーさんがいるので会いに行くと良いと勧められました。そこで安藤先生を団長として療育センターのスタッフ7名でツアーを組み、ストックホルムのユンカーさんの自宅まで押しかけ、自閉症のお子さんを持ち聴覚検査技師でもある彼女の情熱的なお話を伺うことができました。

帰国後、療育センターの高松鶴吉所長や市の障害福祉課におもちゃライブラリーの必要性を訴え続け、1982年に療育センターの訓練室で北九州市おもちゃライブラリーKOLを開設することができました。安藤先生が初代の館長で私は副館長として2001年までボランティア活動を続けました。その間におもちゃの図書館連絡会の初代会長だった小林るつ子さんや現会長の鈴木訪子さんとも出会いました。お二人とは1987年にカナダのトロントで開催された国際トイライブラリー協会の国際会議にも出席し、世界中の参加者と交流した楽しい思い出があります。

現在は全国各地におもちゃ図書館が地域に根ざした活動を続けておられること本誌を通してうかがい知ることができます。コロナ禍での活動は利用人数の制限や感染予防対策など多くの制約がありご苦労されていることでしょう。どんな状況でも子どもたちや親御さんの良いおもちゃとの出会い、おもちゃを通じた人との交流を待ち望んでいるはずです。これからも子どもと親の夢を叶える活動を続けられますようお願いしています。

【プロフィール】

1954年 北九州市生まれ 1979年 九州芸術工科大学大学院修了
1979年 北九州市立総合療育センター リハビリ工学技士
1982年 北九州市おもちゃライブラリー副館長 2001年 北九州市おもちゃライブラリー顧問
2001年 近畿福祉大学 社会福祉学部 教授 2007年 東洋大学 ライフデザイン学部 教授
2014年 おもちゃの図書館全国連絡会 相談役 2020年 長野大学 社会福祉学部 教授

おもちゃ図書館ボランティア 北海道地区研修会

日時：2022年10月16日（日）11：00～15：00 会場：札幌市社会福祉総合センター
主催：さっぽろおもちゃ図書館連絡協議会 協力：おもちゃの図書館全国連絡会

10月16日（日）良く晴れた青空の日に「北海道地区研修会」がコロナ禍の中、無事に開催することができましたこと、感謝申し上げます。

研修会前日の「懇親会」では、札幌3館の現状を話し合うことができました。

「研修会」には、札幌10名、道内各地から17名の参加となりました。全国連絡会専務理事浅野様の基調報告では、withコロナでのおもちゃ図書館の役割り・必要性・魅力そしてたくさんの方の企業さんからの応援などについてお聞きし、改めておもちゃ図書館活動への力をいただきました。ありがとうございました。

札幌市社会福祉協議会ボランティア振興課長の犬能様による札幌市のボランティア状況のお話では、関係団体との支援に力を入れてくださっていることに感心いたしました。

また、全国のおもちゃ図書館の活動の様子が動画で紹介され、それぞれコロナ禍でも頑張っている姿を観ることができました。

午後のワークショップでは5つのグループに分かれて、手作り楽器を何種類か作りました。「工作の時間みたいね」と言いながら、皆さん真剣に作成し、出来た楽器をならして楽しんでいました。
(さっぽろおもちゃ図書館連絡協議会)



恒例の手作りおもちゃ販売



札幌市社会福祉協議会犬能様より
札幌市のボランティア状況について



午後は手作り楽器のワークショップ
「ちょっと難しかったけれど、童心にかえて楽しめました」との声も

TOYらいぶらりあん養成講座（初級）

日時：2022年8月30日（火） 10：00～12：00

会場：常陸太田市総合福祉会館 参加者：22名

初級講座「おもちゃ図書館を居心地の良い場所にするためのボランティアのあり方」

常陸太田市おもちゃ図書館「あそぼ」では毎年研修・交流会を実施していますが、今年も昨年度に続き「TOYらいぶらりあん養成講座（初級）」の講座を実施していただきました。「あそぼ」のボランティアさんほか、茨城県内のおもちゃ図書館（土浦・美浦）からも参加があり、オンラインを活用することで、コロナ禍であっても東京から鈴木理事長が講師として参加することができるようになったり、当日会場参加は難しくても画面を通じて交流を図ることなどができるようになりました。オンラインを利用した研修や交流、ぜひ皆さまの地域でもご活用ください！



「応援」「寄贈」ありがとうございます

☆おもちゃメーカー様より

例年、東京おもちゃショー出展の際におもちゃメーカーの皆さまより、サンプル品や展示品などのおもちゃを寄贈していただいております。今年は、バイヤーズデイのみということではありましたが3年ぶりにおもちゃショーが実施されました。企業の皆さまに「おもちゃ寄贈のお願い」をしたところ、たくさんのおもちゃが事務局に届きました。ご協力くださった企業の皆さまには心より感謝申し上げます。いただいたおもちゃは20年、30年の永年活動表彰館5館と、事前の応募により99館へ送付いたしました。

おもちゃを寄贈していただいた企業 (順不同 敬称略)

アルツァーナジャパン (株) 石川玩具 (株) イワヤ (株) エデュテ (株)
(株) 学研ステイフル (株) サンライズ (株) ジーピー (株) メガハウス
(株) タカラトミーアーツ (株) トイコー (株) ハピネット (株) やのまん
(株) パイロットコーポレーション (株) ハシートップイン
プラントイジャパン (株) マテル・インターナショナル (株) マルカ (株)

<寄贈を受けたおもちゃ図書館からのお礼状より>

性別を問わず大人気のおもちゃです。子どもたちは、工具を使ってネジをつけたり外したりすることに夢中になっています。

いつも大人がしていることを子どもがおもちゃで体験することができるので、子どもたちに大人気なのだと思います。

子どもたちの笑顔や笑い声が絶えないおもちゃ図書館になりました。ステキなおもちゃをありがとうございました。

(高岡おもちゃ図書館)



組み立てホイール

型はめは、色のヒントはあるものの、正しく形を合わせて入れないと通らないので、簡単ではなく、小さい子供はお母さんと一緒に取り組んでいました。型にブロックを正しく合わせることができると、音が鳴るだけでなく、光が点滅するので、楽しそうでした。水の流れる音も出て、水やりごっこができるおもちゃは珍しく、少し年齢の大きいお子さんにはさらに喜んでいただけるのではないかと思います。楽しいおもちゃをどうもありがとうございました。なかなか新しいおもちゃを購入できないので、とても助かります。

(かながわ地域活動ホームほのぼのおもちゃ文庫)



ベビーガードナー

ジュラシックワールドは、女の子も恐竜が好きな子は多いようで、映画等のような怖さがなく、楽しく遊ぶことができます。

キャリアカーは、これまで単体の自動車ばかりでしたが、その車を運ぶ車があるという驚きと感動がありました。普通に走らせた後、最後にキャリアカーに乗せて運ぶということで多人数でも関わって遊ぶことができました。限られた予算の中で活動しているボランティアにとって、新しいおもちゃの寄贈は大変ありがたいことです。

(函館おもちゃライブラリー)



キャリアカー
ジュラシックワールド

☆マニユライフ生命保険（株）様からのご寄付

マニユライフ生命保険（株）の社員の皆さまからのご寄付（マニユライフ
アクトオブカインドネス）を基に、今年度は二つの事業を実施しました。



※おもちゃ図書館が元気になる活動支援（11館）

それぞれのおもちゃ図書館が考えた「元気になる活動」（ミニイベント等）への助成

※おもちゃ図書館でぜひ遊んでほしいおもちゃ紹介&プレゼント事業(43館)

一般のおもちゃ屋さんではなかなか手に入りにくい「皆さんに遊んでほしいおもちゃ」6点
を選び、募集したところ多くの応募がありました。届いたおもちゃに目を輝かせている様子が
各おもちゃ図書館の報告からも伝わってきました。

- ①回転式視覚刺激ドラム ②トラッカー (①・②TAG社)
- ③パットベルシェルフ ④スロープフラワーガーデン (③・④PlayMeToys社)
- ⑤バイキンマンの的あて ⑥布おもちゃ3点 (⑤・⑥よこはま布えほんぐるーぷ)



パットベルシェルフ
(PlayMeToys社)



バイキンマンの的あて
(よこはま布えほんぐるーぷ)



回転式視覚刺激ドラム
(TAG社)

☆マイバッグをつくろう！

今年も（株）make様より「布バッグ3000枚と布用ペン200個」を寄贈していただき、希望の
あった41か所のおもちゃ図書館へお送りしました。今年で5回目となり、恒例イベントとして
取り組んでいる館も多いようです。絵を描くことが好きなお子さんも多く、
下書きを準備してやってくることもあり、皆さんとても楽しみにしています。
こうして継続してご支援をいただき本当にありがとうございます。



☆キッズコーナー用のレンタルアップおもちゃの寄贈

（株）ビスモーゲン様より、レンタル品の入れ替えの際に出る、使わなくなったおもちゃを
田中社長自ら車にたくさん載せて届けていただいています。普段、自分たちではなかなか購入
することが難しい大型のキッチンやドールハウス、パーキングセットなど、
これまで2回募集し、合計100館近いおもちゃ図書館へお送りしました。ま
た、おもちゃ発送用の段ボール（サイ
ズ違いで数セット）も2回いただきました。今後も継続して寄贈していただ
けるとのことです。皆さん、どうぞお
楽しみに！



☆三菱電機×中央共同募金会「三菱電機創立100周年記念助成」

10月11日、三菱電機×中央共同募金会「三菱電機創立100周年記念助成」を受けることになり、千代田区の三菱電機(株)の本社で贈呈式がありました。この助成は、三菱電機(株)創立100周年記念事業の一環として、同社による中央共同募金会への法人寄付を原資に行われたものです。同社全社員の皆様の社会貢献活動時間に基づき、社会課題解決のために役立てたいとの趣旨で行われたものです。

おもちゃの図書館全国連絡会では、407万円の助成をいただき、次のような内容で活用いたします。助成をいただきました三菱電機(株)様、いろいろお世話をいただきました中央共同募金会様に、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。



(左)三菱電機(株)サステナビリティ推進部長 上野様
(右)中央共同募金会事務局長 阿部様 (中央)鈴木理事長

- (1) コロナ禍で途絶えた地域の結びつきを回復するため、「おもちゃ図書館ボランティア地域交流会・研修会」を全国各地、5～7か所で開催する。
- (2) コロナ禍で再開しているおもちゃ図書館活動を応援するため、新しいおもちゃや消毒用品など、運営に必要な用品を100か所のおもちゃ図書館に寄贈する。
- (3) おもちゃの図書館全国連絡会が来年創立40周年を迎えるため、これまでの活動をまとめ、新たに発展する道筋を描いていくため、周年記念誌を作成する。

こうした取り組みにより、おもちゃ図書館活動の活性化をめざすことができると考えています。三菱電機×中央共同募金会「三菱電機創立100周年記念助成」に、重ねて感謝を申し上げます。

☆グラパッドジャパン様からおもちゃ寄贈



千葉県佐倉市にあるグラパッドジャパン様より、スペイン製の木のおもちゃを寄贈していただきました。手に取って遊ぶ子どもそれぞれにいろいろなイメージや想像が湧いてくるようなおもちゃで、楽しみ方や遊び方が無限に広がっていくようです。すてきなおもちゃを寄贈していただきありがとうございました。

☆ピジョン(株)社員の皆さまからのご寄付

社員のボランティア休暇制度を活用した企業主導型ボランティア活動を推進しており、おもちゃ図書館へのボランティア活動として、手づくりおもちゃの制作に取り組みました。7名の社員の方が参加し、おもちゃ図書館への理解を深めた後、「ぱたぱた蝶工作キット」や「布サイコロ」の制作を実施。昨年12月にぱたぱた蝶工作キット229セット、布サイコロ1個、絵合わせ布サイコロ1セット(4個)をいただき、希望するおもちゃ図書館にお送りしました。工作キットは、それぞれのおもちゃ図書館で開館日やイベントなどで活用しました。また、今年度は実際におもちゃ図書館でのボランティア活動も希望されていて、調整をすすめているそうです。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



どうぞよろしく！新入会員の紹介

新しい形のおもちゃ図書館が増えてきました。新入会の方の活動や思いから、今の時代のニーズが見えてきますね。

☆☆おもちゃ図書館あだちキッズカフェ(N0.787) 東京都足立区

おもちゃ図書館「あだちキッズカフェ」は東京都足立区にある築40年以上の一軒家をセルフリノベーションし、2022年4月に開館しました。足立区在住の生活に困難を抱える子育て世帯に向けて、無料で解放しています。毎月第一・第三土曜日には子ども食堂も併せて実施し、ご飯を食べた後に季節の遊びや工作、お菓子づくりなどを一緒に行い楽しんでいます。

足立区は広いので、遠方からだと小学生が自力で遊びに来ることができないため、第一・第三土曜日のみ送迎サービスを実施しています。今後は、平日も子どもたちが利用しやすくなるよう平日も活動できる仲間を増やしていきたいです。(井野瀬優子)



☆☆遠別町おもちゃ図書館ちゃちゃ(N0.788) 北海道遠別町

おもちゃ図書館ちゃちゃは、町内有志9名により2021年9月より毎月2回開館中です。乳幼児のおもちゃから、小中学生～大人まで楽しめる世界のテーブルゲーム、家庭用遊具などを揃え、子ども達の貴重な「第3の居場所」となっています。毎回、簡単な工作やおもしろ化学体験などのワークショップも併せて実施。これまで、下記のような事例や利用者さんからのお声をちょうだいしております。

・不登校の中学生がおもちゃ図書館ボランティアとして皆勤賞。高校進学を果たし、現在もボランティア継続中。・人見知りの小学1年生が、自らボランティアさんに「一緒に遊ぼう？」と言える逞しい2年生に。・(中学校養護教諭)毎回違ったカードゲームを貸してもらい、さまざまな事情を抱えた学生と保健室でワイワイ楽しんでいます。

おもちゃや家族以外の大人、友人との交流を通して、困ったときに「困った」「助けて欲しい」と仲間や周りの大人に言える、そんな習慣を身につけてもらえるような環境づくりを行ってまいります。(小林由美子)



☆☆おもちゃ図書館ルドテーク可児(N0.789) 岐阜県可児市

おもちゃ図書館「ルドテーク可児」は岐阜県可児市にある株式会社 five boxes (ファイブボックス) が本部で運営しています。ルドテークの意味は1990年代からスイスで使われ始めた遊具レンタル施設に由来しています(ルドはラテン語でおもちゃ、テークは施設を意味しています)。スイスでは遊具をレンタルする施設が多くあり、単に「おもちゃを借りる」という事だけではなく、子どもたちは自身が遊んだおもちゃを自身で片付ける事、他者とおもちゃを共有する事、おもちゃを大切に扱う事などを体験から学びます。ルドテーク可児も子どもたちがおもちゃで遊びながらたくさんの事を学んで欲しいという思いを持って活動を始めました。またFive boxesでは保育事業、福祉事業、教育事業、介護事業、生活事業といった様々な観点から事業性を持って地域社会に貢献出来るよう活動を行っています。地域の誰でもが気軽に遊びに来たいと思えるような魅力のあるおもちゃ図書館を目指して活動してきたいと思っています。(白幡加奈子)



～おもちゃ図書館で遊び育った子どもたちの「今」～



幼児期から学齢期におもちゃ図書館で遊んできたお子さんたちが成長し、成人となっているおもちゃ図書館も多くなりました。障害のある子の子育ては先が見えず、親にとっても家族にとっても不安や心配は尽きることがありません。「この子はいったいどんな風に成長するのだろうか？」とそんな気持ちを常に抱えていることでしょう。おもちゃ図書館で遊び育ってきた子どもたちはどんな大人に成長しているのでしょうか、少し先を歩く方たちにお話を聞き、成長した姿をお伝えしていきたいと思えます。

近江八幡市おもちゃ図書館「宙」(滋賀県近江八幡市)

おもちゃ図書館「宙」は開館して、今年で25年になります。3才の頃から親子で遊びに来ているM君が、今年、高等部3年生になりました。今では、重いおもちゃや高い棚からおろすおもちゃなどは、M君を頼りに広場を行っています。今回、そんな頼もしいM君がこれまでの思いを語っていただきました。(榊原かず子)

■おもちゃ図書館での思い出は

- ・キャリアカーが一番好きで、それでボランティアさんと一緒に遊んだこと
- ・毎年夏休みに行く「みんなで楽しむコンサート」では、歌をうたって身体を動かしてとても楽しかったこと
- ・ボランティアさんと一緒に手作りおもちゃの製作をして遊んだこと
- ・お正月にお抹茶を点てたこと ボランティアさんにお点前を教えてもらって、今では僕がボランティアさんにお抹茶をたてて出すまでになり、自分の自信になっていること
- ・今は、トランプゲームやわにわにパニック等のゲームをみんなで一緒に楽しむこと
と けん玉を披露すること

■ボランティアに伝えたいことはありますか

僕は小さい頃から人見知りがあって、人と関わるのが苦手で、お話しをする時はいつもドキドキしていました。そんな僕の横で、いつもボランティアさんはニコニコしながら、いろんな事を体験させてくれました。15年通っていますが、ここに来たら気兼ねなく安心しておしゃべりができてホッとします。だからボランティアさんと出会えて本当に良かったです。

■お母さんからの一言

いろんな子どもさんと遊びを通して、我が子の成長を実感しました。その中でも、お抹茶を楽しめるようになるとは思ってもいなかったもので、とてもうれしく思います。

自分がまず一歩踏み出すことで、おもちゃ図書館に参加している子どもさんや保護者さん、ボランティアさんとの出会いが生まれ、ここに来て、一緒にお話しをする時間が楽しみでした。本当に、人との素晴らしい出会いができました。



<事務局より>

【おもちゃ図書館に関するご相談について】

おもちゃ図書館に関するご相談、お問い合わせ等は事務局にて随時承っております。おもちゃ図書館に遊びに行きたい、ボランティアをしてみたい、助成金、新規立ち上げ、研修などなんでもどうぞ！

火～金 10:00～16:30

TEL: 03-6807-8813

E-mail: renrakukai@toylib-jpn.org



☆事務局・年末年始の休業について☆

12月24日(土)～1月3日(火)

お急ぎのご用件のある方は
メールにてご連絡ください



新入会員の紹介

《NO.801》ふらっとママおもちゃ図書館 (埼玉県さいたま市)

～おめでとうございます～



☆秋の緑綬褒章

福岡県 おもちゃの家でんでんむし

☆「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰

愛媛県 新居浜市おもちゃ図書館きしゃポッポ

～ありがとうございます～

各種ご支援をいただきました。(順不同・敬称略)

☆賛助会費

安達健司 柚口千佳 山田千明 澤佐景子 今井昌子
森敏江 清水治子 おもちゃ図書館カフェの会
成田道子 保井五雄

☆寄付

寺西海運株式会社 マニユライフ生命保険(株) 鈴木訪子

☆物品寄付 (株)ビスモーゲン(株) オスト 西峯行雄

☆助成 三菱電機×中央共同募金会

「三菱電機創立100周年記念助成」

《ご支援のお願い》

当連絡会は、子どもたちの様々なニーズに応え、地域福祉の要となる各地域の「おもちゃ図書館」を応援しています。ぜひ皆さまからのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【賛助会費・寄付の口座】

三井住友銀行 町屋支店

口座番号 普通7013930

(口座名)

特定非営利活動法人

おもちゃの図書館全国連絡会

*皆さまのお声をお寄せください
トイポスト他
アンケート



*公式LINE開設しました！
写真や動画の送付に便利です。
ご登録お待ちしております。



<編集後記>

with コロナの体制をとって、研修会・イベント等が徐々に戻りつつあり、嬉しく思っています。私の所属するよこはま布えほんぐるーぷでも感染防止対策を施し、活動・貸出を再開いたしました。布えほん・布おもちゃも3年振りに子ども達に会えるので、日光浴・化粧直し(補修)・消毒をしたりして、遊んでくれるのを待っています。早く出会い・交流ができますようにと願うばかりです。(園山)
(編集委員: 安達・岸・篠原・園山・藤井)